

令和6年度 全国学力・学習状況調査

令和6年4月18日(火)に、文部科学省が小学6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査での、本校の結果をお知らせします。

教科ごとの平均正答率の比較

	国語	算数
全国との比較	◎	○
福井県との比較	◎	○

<表の見方>◎…3.1%以上上回る ○…±3%以内 △…3.1%以上下回る

良好な点、課題のある点と分析、今後の対策について**国語**良好な点

- ◎複数の情報を分類したり関連付けたりして整理することができる。
- ◎複数の条件を満たした文章を書くことができる。
- 落ち着いた雰囲気の中、学習に取り組んでいます。
- 質問紙の結果からも、クラス全員が、国語の勉強は大切である、国語の授業で学習したことは将来役に立つと感じています。また、国語の授業で、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書くよう意識している児童が多くいます。5年生時の国語の授業では、複数の条件を示し、単元のまとめを書いていた成果が出ていると思われます。

課題のある点

- ▼漢字の書き取りや文法など、知識理解が身につけていない児童が何名かいる。
- 今後も継続して、パワーアップタイムや1分前学習を利用し、繰り返し漢字の学習に取り組み、定着を図ります。
- 文章を読む際、主語や述語が何かを意識させる場面を増やすようにします。

算数良好な点

- ◎基本的な計算問題や基礎知識
- 反復練習の成果。また、落ち着いた学習環境と、家庭学習の習慣が定着している成果と考えられます。

課題のある点

- ▼図形の読み取りを思い込みや雰囲気で解答している児童が数名いる。
- 見取り図などをかく練習を増やし、正確にかくためにどこを見るといいのかポイントを押さえた指導をしていきます。
- 長さや角度の等しくなる部分を把握するなど、図形の基礎知識を押さえ直します。

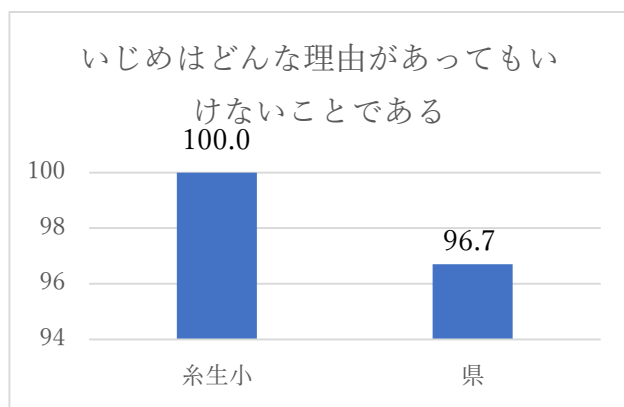
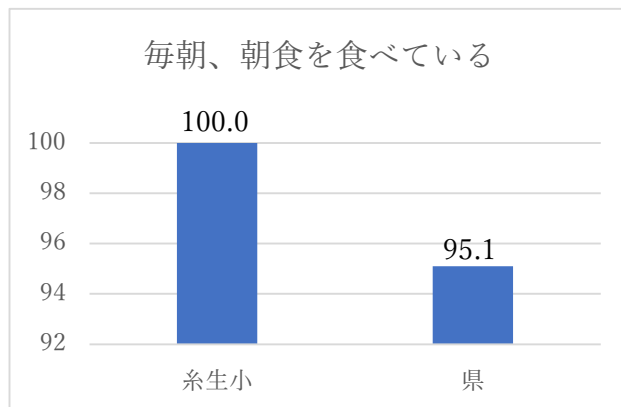
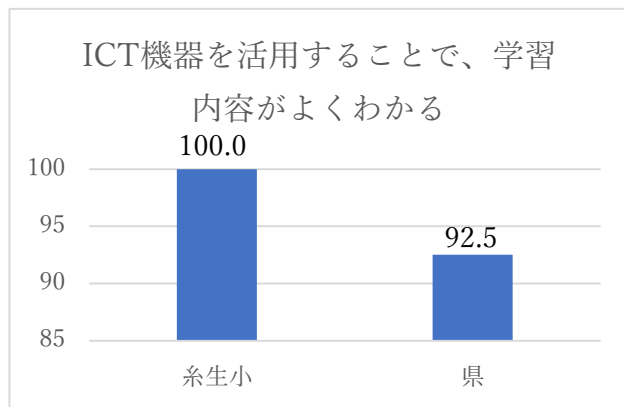
▼言葉で説明する問題で、説明が不十分な児童が数名いる。

→「底面」「側面」などの算数用語を理解する必要があります。

→答えは分かっているので、因果関係を正しく説明し、結果まで書くことなど、記述の技術を指導していきます。

学習や生活

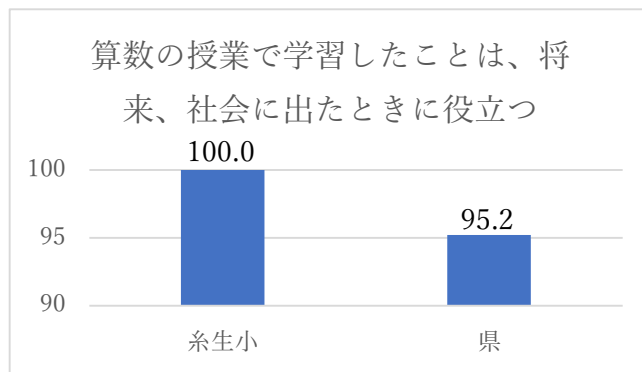
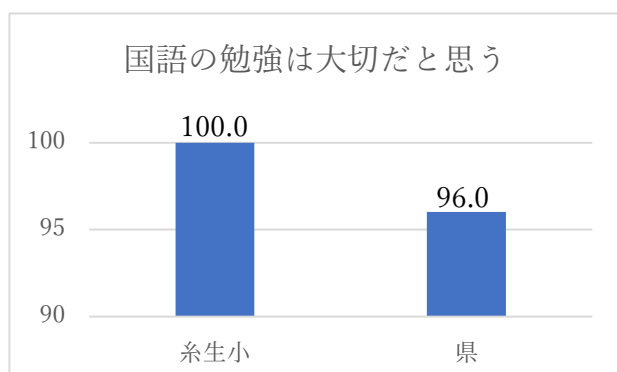
良好な点



◎充実した ICT 活用により、学習内容がよくわかると児童全員が感じており、自分の考えや意見を分かりやすく伝えたり、友達と考えを共有したり協力したりしながら学習を進めたり、分からないことがあった時にすぐ調べたりすることができている。

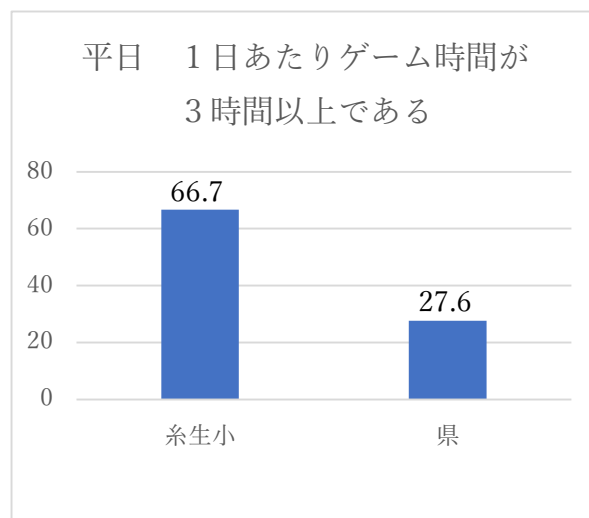
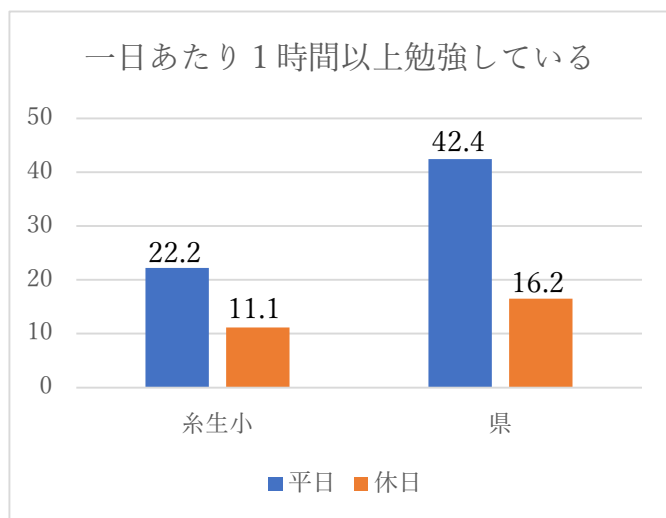
◎朝ごはんを食べる、同じ時間に寝て起きる、といった規則正しい習慣が身についている。

◎「いじめはどんな理由があってもいけないことである」と考えている児童の数値が、県、全国よりも高い。いじめに対して、共通した認識をもつことができている。



◎教科について、難しいと感じている児童はいるが、「勉強は大切だ」、「社会に出たときに役に立つ」と全員が感じており、今後の学習で活用したり、授業で学んだことを活かしたりしようと努力している。

課題のある点



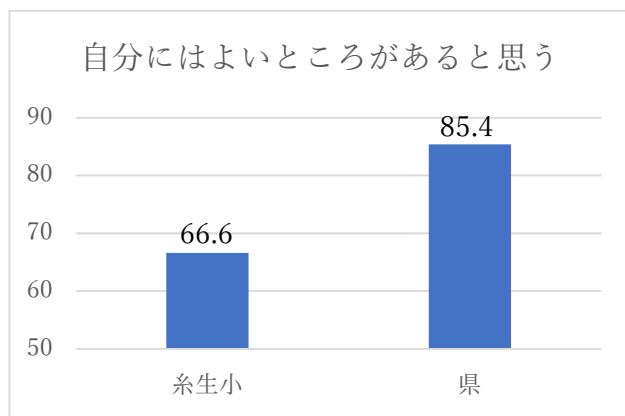
▼学校の授業時間以外に、平日、1日あたり1時間以上勉強していると答えた児童の割合が少ない。休日、1時間以上勉強していると答えた児童の割合は少ない。

→授業のなかで、自分からすすんで学びたいような気づきや課題を見つけ、主体的に取り組もうとする意欲を育てる声かけをしていきたいと考えています。

▼平日の1日あたりのゲーム時間が、3時間をこえる児童の割合が高い。(3時間以上が6人)町や県よりも割合が高い。

→目や脳の健康や充実した生活のためにも、時間を守ってゲームをする意識を育てていきます。

→ゲーム以外にも興味・関心を持ち、ゲーム以外の過ごし方や楽しみ方を知る必要があると考えます。それらに時間を使うようにする意識を高める指導をしていきます。



▼自分にはよいところがあると思う児童の割合が低い。

→子どもたちの様子を見ていると、たくさんの良いところが見られます。しかし、それが自己肯定感にはつながっていないようです。そこで、家庭と協力して、子どもたちの良いところをさらにほめていきたいと考えています。